

各 位

2015年6月8日
SBIホールディングス株式会社
SBI Ven Capital Pte. Ltd.

当社グループ運営ファンドによるインドのマイクロファイナンス事業会社への 出資に関するお知らせ

このたび、SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：北尾 吉孝）の子会社で、ファンドの運用・管理を行うSBI Ven Capital Pte. Ltd.（本社：シンガポール）は、同社の運営するSBI FMO金融セクターファンド（以下「当ファンド」）を通じて、Satin Creditcare Network Limited（以下「Satin社」）への出資を行いましたのでお知らせいたします。

サティン Satin社について

サティン
Satin社は1990年に創業したインドにおけるマイクロファイナンス事業会社で、インド北部を中心に、農村や都市部の貧困層の個人ならびに零細事業者への小口融資を展開しております。2015年3月末時点で、インドの11の州で合計267の支店を展開し、2015年3月期の融資実行件数は1百万件を突破するなど、急速に営業基盤を拡大しております。今回の出資により、サティン
Satin社への出資持分比率は約10%となります。

また、インドマイクロファイナンス業界団体Micro Finance Institutions Network (MFIN)が公表する、公正な事業活動の評価指標であるResponsible Business Index (2013-2014)調査においてサティン
Satin社は業界平均を上回る高いスコアを獲得しており、小口融資業務を通じてインドの貧困層の生活水準の向上に大きく貢献しております。

なお、当ファンドは、サティン
Satin社の設立者が創業したタラシナ
Taraashna社にも2015年3月に投資しております。タラシナ
Taraashna社は2012年に創業したインドにおける銀行代理事業者です。銀行の支店が無く、金融サービスへのアクセスが遮断された農村地域などにおいて、預金や資金の貸付などの銀行取引を代行、媒介する事業を展開しており、サティン
Satin社と同様に営業ネットワークを急速に拡大しております。

SBI FMO 金融セクターファンドについて

オランダ政府が過半数を出資するオランダ開発金融公庫と共同で設立した新興アジア諸国の有望な金融機関を投資対象とするファンドです。当ファンドの投資対象となる新興アジア諸国では、国内消費の増加、域内の金融・経済連携の強化、金融サービスへのアクセス普及を推進する政策等によって支えられ、金融セクターが力強い成長を見せております。

当ファンドでは、当社グループがこれまで培ってきた投資事業や金融サービス事業におけるノウハウを最大限活用し、各国の有望な金融機関に投資を行います。

名称 : SBI FMO EMERGING ASIA FINANCIAL SECTOR FUND PTE. LTD.
運用会社 : SBI Ven Capital Pte. Ltd.
設立年月日 : 2013年10月
投資対象 : 新興アジア諸国の金融機関

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：
SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126